

レジメン名	SOX+Nivolumab
対象疾患	治癒切除不能な進行・再発胃癌
1クールの日数	21日
目標コース数	可能な限り継続

	抗がん剤名	略号	1日投与量	単位	投与方法	投与時間	投与日
1	エスワン	S-1	下記参照		po		d1夕～d15朝
2	エルプラット	L-OHP	130	mg/m <sup>2</sup>	div	2時間	d1
3	オプジーボ		360	mg/body	div	30分	d1
4							
補足	エスワンの1日量…1.25m <sup>2</sup> 未満：80mg 1.25m <sup>2</sup> 以上1.5m <sup>2</sup> 未満：100mg 1.5m <sup>2</sup> 以上：120mg (最高75mg/回、最低40mg/回)						

催吐リスク	中等度
前投薬	グラニセトロン注3mg、デカドロン注4.95mg、プロイメンド注150mg
減量規定	エスワン、エルプラット：血小板減少（25,000/mm <sup>3</sup> 未満）、好中球減少（500/mm <sup>3</sup> 未満）、発熱性好中球減少（好中球数<1,000/mm <sup>3</sup> かつ腋窩温≧38.0℃）、下痢・口内炎・手足症候群（Grade3以上） エルプラット：血小板減少（Day29までに100,000/mm <sup>3</sup> 以上を満たさなかった場合）、末梢神経障害（Grade2以上 ※Grade3で休薬、Grade4中止）で減量基準あり オプジーボ：減量基準なし
主な副作用	骨髄抑制、悪心・嘔吐、食欲不振、口内炎、味覚異常、下痢、色素沈着、倦怠感、流涙、末梢神経障害、掻痒症、発疹、発熱、関節痛 ※注意を要する副作用 間質性肺疾患、重症筋無力症、心筋炎、筋炎、横紋筋融解症、大腸炎、重度の下痢、I型糖尿病、重篤な血液障害、肝機能障害、肝炎、硬化性胆管炎、甲状腺機能障害、神経障害、腎障害、副腎障害、脳炎、重度の皮膚障害、静脈血栓塞栓症、infusion reaction
参考文献	適正使用ガイド（ティーエスワン、エルプラット） オプジーボ(ヤーボイ又は他の抗悪性腫瘍剤併用療法)・ヤーボイ 適正使用ガイド ATTRACTION-4試験&CheckMate649試験における投与開始・休薬・減量・中止基準 制吐薬適正使用ガイドライン（日本癌治療学会）
その他	インラインフィルター使用 最終濃度0.35mg/mL以上に調製（総量は60mL以上となるようにする） ※1回360mg投与時の総液量…体重30kg以上：150mL以下 体重30kg未満：100mL以下

投与スケジュール

Day ( 1 )			
滴下順	手技・薬品名・規格	用量	投与時間
1	点滴末梢 メイン1 生理食塩液250mL  1日1回 (持続)	1本	持続
2	点滴末梢 メイン1側管1 グラニセトロン注バッグ3mg デカドロン注1.65mg  1日1回	1本 3本	15分
3	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液100mL オブジーボ注  1日1回  インラインフィルター使用 体重30kg未満の場合は生食50mLへ希釈	1本 360mg	30分
4	点滴末梢 メイン1側管1 生理食塩液100mL プロイメンド注150mg  1日1回	1本 1本	30分
5	点滴末梢 メイン1側管1 5%ブドウ糖液250mL エルプラット注  1日1回  投与前30分空ける	1本 130mg/m <sup>2</sup>	2時間